集団生活において、チームワークは大切だと言われる。個人では達成出来ない物事に対して必要とされる。それは、私達の生活において当たり前に存在している。部活動、特に運動部においてよく耳にするチームの輪を乱す、がそれに当たるのだろう。他人と足並みを揃える必要のあるチームワーク、果たしてそれは本当に必要なのだろうか。

生きることが集団生活だ、と言われると大きすぎるので、私の身の周りで考えてみる。まず思い当たるのは家族、次に学校、そしてその中で行われる部活動くらいだろう。最初は家族についてだが、ここはチームワークを必要と感じたことがあまりない。これは家族との生活を成功や失敗で考えておらず、衝突するのが当たり前だと考えているからだ。理想の家族というものがチームワークの上に成り立っているのなら、私の家庭は理想的ではないのだろう。

そして問題は学校、部活動である。この環

境においてチームワークは必須で、これに欠ける者は自然と居場所を失ってしまう。それを分かっているから担任の先生も、部活動の顧問の先生も口をすっぱくしてチームワークを求める。最早学業と同じく指導すべき部分なのだ。学校に在籍する以上、これを当たり前に受け入れて生活すべきなのだが、私はどうにもそれが不得意で、これまでずっと部活動には縁がない。友達も多い方ではないだろう。だがしかし、ここで私が訴えたいのは、私に居場所がないなんてことはない、という。

ことだ。誰に迷惑をかけている訳でもない、至って普通に生活できている。クラスが険悪な雰囲気なんてこともない。こう見て考えた時に、チームワークが大事か必要か、と問われたなら私は自信を持っていいえと答えるだろう。

学生の間はこれでやっていけるが、社会人になったらチームワークは必要になるのだろう。そう分かっていても学ぶ気になれない私

は、社会人になれるのだろうか。残りの数年間で、その答えを模索していく。

20 × 20